7　主要な事業の概要

施策名	施設設備の充実	No.1	学務課
事業名	小・中学校教材用等備品購入事業		
概要	児童・生徒が積極的に学習に取り組む意欲を喚起し、学力の向上と健全な成長を促すことを目的とし、各校の要望を精査し、教材用備品、校用備品等の購入予算を計上、機器を選定し備品の整備に努める。		
平成30年度決算額	12,443 千円		
評価	A		
	学校からの要望を精査し、限られた予算の中で、より必要性の高い備品から順次購入するなど、概ね期待通りにに事業が進められた。		

施策名	総合的な学習時間の充実	No.2	学務課
事業名	小・中学校村費負担教員及び学校教育支援員配置事業		
概要	小中学校において、児童生徒一人一人の「心」に配慮した、きめ細かい指導・助言を強化することにより、それぞれの将来へ夢と希望を育むとともに、村の将来を担う人材育成を推進する。 村費負担教諭　9人　学校臨時助手　1人　学校教育支援員　9人		
平成30年度決算額	76,766 千円		
評価	A		
	児童・生徒への個別指導やティームティーチング方式でのきめ細かい学習等の指導強化により、学力の向上が図られている。		

施策名	進路指導の充実	No.3	学務課
事業名	奨学資金貸付及び償還事業		
概要	村内に住所を有する者の子弟で就学意欲を持つ生徒であるにもかかわらず、経済的な理由により就学が困難な者に対して貸与する。 貸与人数:高校生　5名　　大学生　4名　　短期大学生　0名　　高専　0名 専門学校生　2名　入学一時金　5名		
平成30年度決算額	貸与額:　37,440千円　　・　償還額:44,941千円		
評価	A		
	就学が困難な者に対して一助となっており、継続して支援していく。滞納については催告書の通知、償還計画変更等による改善を行っているが、今後ともあらゆる面から働きかけを行い、滞納額減少に取り組んでいく。		

施策名	教育支援の充実	No.4	学務課
事業名	要保護及び準要保護児童生徒援助事業		
概要	経済的な理由により就学が困難と認められる児童及び生徒の保護者に対し、義務教育の円滑な実施に資するため、必要な援助を行う。 ・支給費目　　学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、医療費等 ・小学校認定者数　52名　　中学校認定者数　44名　　計96名		
平成30年度決算額	4,596 千円		
評価	A		
	保護者の負担軽減が図られている。		

施策名	教育支援の充実	No.5	学務課
事業名	小・中学校入学祝金支給事業		
概要	村内の小学校および中学校に入学する児童生徒の保護者に対し、入学祝金を支給することにより、入学時における家計の負担を軽減し、もって村の定住促進及び少子化対策を図る ・小学校　82名　　中学校　79名		
平成30年度決算額	8,050 千円		
評価	A		
	保護者の経済的負担軽減が図られている。		

施策名	教育支援の充実	No.6	学務課
事業名	小・中学校給食費補助事業		
概要	学校給食に要する費用を補助することにより、保護者の経済的負担を軽減し、教育の充実を図る。 ・小学校　505名，　中学校　264名		
平成30年度決算額	40,080 千円		
評価	A		
	保護者の経済的負担軽減が図られている。		

施策名	教育支援の充実	No.7	学務課
事業名	小・中学校検定受検費補助事業		
概要	児童生徒の学習意欲の向上及び保護者負担の軽減を図るため、各種検定費を補助する。 ・漢字・英語・数学・歴史検定のうち、最も高い受検料の額を上限とし、年1回補助 ・小学校:333名　　中学校:123名		
平成30年度決算額	1,011 千円		
評価	A		
	児童生徒の学習意欲の向上及び保護者負担の軽減が図れた。		

施策名	教育支援の充実	No.8	学務課
事業名	教育相談員配置事業		
概要	教育相談員による電話・来室相談や学校・家庭訪問等を行い、幼・小・中学生の生育・不登校・進学・就学等の支援、指導の充実を図る。 ・教育相談員　3人		
平成30年度決算額	6,302 千円		
評価	A		
	教育委員会と密に情報共有しながら、就学指導や教育相談等において親身に問題解決に取り組み、成果を上げている。		

施策名	教育支援の充実	No.9	学務課
事業名	通学バス運行委託事業		
概要	小中学校の統廃合による児童生徒の通学の利便性向上を目的に、通学バスや巡回バスの運行業務を実施する。 ・小中学校通学バス:9台		
平成30年度決算額	66,989 千円		
評価	A		
	児童生徒及び地域住民の交通の利便性向上に寄与した。		

施策名	高校教育の充実	No.10	学務課
事業名	六ヶ所高校通学バス委託事業		
概要	六ヶ所高校に在学する生徒の通学の確保及び地域住民の交通の利便性向上を目的に通学バスや巡回バスの運行業務を実施する。 利用生徒数　1年生　59名　2年生　52名　3年生　62名　　合計　173名		
平成30年度決算額	98,631 千円		
評価	A		
	保護者負担の軽減及び通学条件の緩和が図られている。		

施策名	高校教育の充実	No.11	学務課
事業名	六ヶ所高校活性化対策協議会補助事業		
概要	六ヶ所高校の生徒の大学進学率向上を図るため、進学を希望する1・2年生を対象に、予備校の進学講習や大学の講義を体験受講するための経費に対し補助金を交付する。 ・学習合宿参加者:夏期18名 ・公務員対策講座受講者:18名		
平成30年度決算額	968 千円		
評価	A		
	大学進学へ向けた学力の向上及び契機作りが図られ、もって進学率の向上に寄与した。		

施策名	高校教育の充実	No.12	学務課
事業名	高等学校生徒通学費等補助事業		
概要	他市町村の高等学校(六ヶ所高校及び定時制並びに通信制高校を除く)に通学(下宿)する生徒の交通費等を補助する。 利用生徒数　129名		
平成30年度決算額	10,759 千円		
評価	A		
	保護者負担の通学費等(下宿含む)が軽減及通学条件の緩和が図られている。		

施策名	教育施設の整備充実	No.13	学務課
事業名	小中学校施設改修事業		
概要	各学校施設を健全な状態で維持するため、必要な修理・修繕等を行い、児童生徒の安全を確保する。 ・小学校　泊小学校遊具改修工事ほか　計37件 ・中学校　第一中学校放送設備改修工事ほか　計39件		
平成30年度決算額	40,597 千円		
評価	A		
	学校施設の健全化が図られ、児童生徒の安全が確保された。		

施策名	教育施設の整備充実	No.14	学務課
事業名	教員住宅改修事業		
概要	各校教員住宅を健全な状態で維持するため、必要な修理・修繕等を行い、教職員の生活環境の改善を図る。 ・泊小学校教員住宅フェンス改修工事ほか　3件		
平成30年度決算額	3,264 千円		
評価	A		
	教員住宅の健全化が図られ、教職員の生活環境の改善に寄与した。		

施策名	特別活動の充実	No.15	学務課
事業名	「六ヶ所村夢をはぐくむ教育」推進事業		
概要	知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童・生徒を育成するため、創意工夫を凝らし、個を生かし生きる力をはぐくむ学校教育を支援する。 ・村内全小中学校に活動費を助成		
平成30年度決算額	4,140 千円		
評価	A		
	個性を伸ばし、生きる力が育まれ、人間性豊かな児童・生徒の育成が図られている。		

施策名	学校教育の振興	No.16	学務課
事業名	学校教育振興会補助事業		
概要	学校教育の振興を図ることを目的に、学校教育振興計画の策定、基礎資料の調査及び研究結果、児童・生徒の学芸行事、体育行事、小・中・高連携教育の振興・充実を図るため補助する。 ・学芸委員会　986千円　体育委員会　4,231千円　事務局　1,358千円		
平成30年度決算額	6,602 千円		
評価	A		
	小中学校及び高等学校の教育振興が図られた。		

施策名	特別支援教育の充実	No.17	学務課
事業名	教育支援委員会補助事業		
概要	心身に障害のある児童、生徒等の障害の種類、程度について、専門的立場から調査及び審議を行い、適正な就学ができるよう、適切な指導をするとともに、就学後の児童・生徒に対する一貫した支援に対する助言をする。 委員会　5回　対象14名		
平成30年度決算額	280 千円		
評価	A		
	年々対象児童数が増加傾向にあり、幼稚園、保育所と連携し情報の共有に努めている。期待通り成果が上がっており現状のまま継続する。		

施策名	特別支援教育の充実	No.18	学務課
事業名	特別支援教育就学奨励事業		
概要	特別支援学級に在籍している児童生徒の保護者に対して、経済的負担を軽減するため奨励費を支給する。 対象者数　小学生　5名　中学生　3名　　計8名		
平成30年度決算額	72 千円		
評価	A		
	保護者の軽減負担が図られて、期待通り成果が上がっており現状のまま継続する。		

施策名	教育支援教育の充実	No.19	学務課
事業名	通級による指導通学費補助事業		
概要	小学校の普通学級及び特別支援学級に在職し、ことばの教室に通級する児童の保護者に交通費を助成する。(若葉小学校で実施) 対象者数　小学生　1名		
平成30年度決算額	35 千円		
評価	A		
	保護者の軽減負担が図られて、期待通り成果が上がっており現状のままま継続する。		

施策名	体育・健康教育の充実	No.20	学務課
事業名	学校保健会補助事業		
概要	学校保健の研究並びに普及発展を図るため、関係者が協力し学校保健の向上に資することを目的に、保険思想の普及啓発、事業の企画及び実施、調査研究、学校保健資料の斡旋などを行うために補助する。		
平成30年度決算額	493 千円		
評価	A		
	期待通り成果が上がっており現状のまま継続する。		

施策名	体育・健康教育の充実	No.21	学務課
事業名	学校検診・就学時健診・教職員健診事業		
概要	児童生徒・教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的として、学校保健法に基づき実施する。 ・内科・歯科・眼科・耳鼻科検診、尿・心電図・貧血検査、就学時健診、成人健診等		
平成30年度決算額	2,502 千円		
評価	A		
	学校健診を行うことにより、児童生徒及び教職員の健康の保持増進が図られ、学校教育が円滑に実施されている。		

施策名	体育・健康教育の充実	No.22	学務課
事業名	学校医・薬剤師委嘱事業		
概要	学校における健康管理に関する専門的事項に関し、技術及び指導に従事していただくため学校保健法に基づき学校医、薬剤師を委嘱する。 学校医3名　学校歯科医1名　薬剤師 1名		
平成30年度決算額	1,200 千円		
評価	A		
	期待通り成果が上がっており、現状のまま継続する。		

施策名	安全教育の充実	No.23	学務課
事業名	学校災害共済給付事業		
概要	日本スポーツ振興センターと学校の設置者との契約により、学校の管理下における児童生徒の災害（負傷、疾病、障害又は死亡）に対して、災害共済給付を行う。		
平成30年度決算額	680 千円		
評価	A		
	滞りなく事務処理ができ、児童生徒に対して速やかな対応ができた。		

施策名	学習環境の整備充実	No.24	学務課
事業名	村営学習塾運営業務委託事業		
概要	村の将来を担う人材育成に向け、児童生徒の学習意欲の向上や、家庭学習習慣の確立、基礎学力の向上を図るため実施する。 受講生 【小学校】 5年生　20人　6年生　19人 【中学校】 1年生　19人　2年生　12人　3年生　27人 合計　97人		
平成30年度決算額	19,459 千円		
評価	A		
	きめ細かな学習指導が実施されたことにより、児童・生徒の基礎学力の向上及び学習意欲の高揚が図られた。		

施策名	環境教育の推進	No.25	学務課
事業名	環境・エネルギー教育推進事業		
概要	児童・生徒が、エネルギー関連施設の見学や学習教材による体験学習を通して、エネルギーと環境保全に関する諸問題や、エネルギーと自分たちとの生活のかかわりについて理解を深め、エネルギーの有効利用について、自ら考える資質と能力の育成を図るため実施する。 ・エネルギー関連施設見学会実施：泊小、尾駮小、千歳平小（補助事業）		
平成30年度決算額	924 千円		
評価	A		
	環境問題やエネルギーと自分たちの生活との関わりについて認識を深め、自然との共存・エネルギーの有効利用について考えることができるようになった。		

施策名	キャリア教育の推進	No.26	学務課
事業名	室蘭工業大学交流事業		
概要	室蘭工業大学の教授や大学生との「ものづくり」授業を通じて、科学に対する興味・関心を呼び起こし、未来の国際科学技術都市確立に向けての人材・基盤づくりを図るとともに、キャリア教育の一環として、大学生とコミュニケーションを図ることにより、将来の進路選択の一助とする。 ・室蘭工業大学：教授1名、大学生等6名参加 ・千歳中学校：全校生徒34名参加		
平成30年度決算額	1,468 千円		
評価	A		
	室蘭工業大学の教授・学生達との交流及び「ものづくり」授業を体験したことにより、科学に対する興味・関心がわき、科学的な思考力を育てる機会の充実が図られた。		

施策名	実態に即した指導方法等の推進	No.27	学務課
事業名	学力到達調査及び学習意識調査委託事業		
概要	一人一人の児童生徒に適した学習指導方法を把握し、より短いスパンでの学力の向上を目的として、年2回の知能検査、標準学力検査、進路適性検査等を実施し、以後の指導に資する。 ・第1回　6月実施（小2～中3） ・第2回　12月実施（小1～中2）		
平成30年度決算額	1,989 千円		
評価	A		
	基礎的な内容から応用的な内容まで幅広く実態が把握でき、児童生徒の学習内容の補充と教師の指導方法等の改善につながった結果、学力の向上が着実に図られている。		

施策名	開かれた学校づくり	No.28	学務課
事業名	学校評議員配置事業		
概要	開かれた学校づくりのため、学校の教育目標、教育方針、教育活動の充実、地域の連携、学校運営に関し、学校長が意見を求めるために学校評議員を配置する。 評議員数　8校　24名		
平成30年度決算額	324 千円		
評価	A		
	定期的に会議が開催され、有識者の意見が学校経営に反映されることにより、一層地域に開かれ、活力のある教育活動が展開されている。		

施策名	世界の文化に触れる国際的な交流の推進	No.29	学務課
事業名	海外体験学習事業（小・中学校）		
概要	21世紀を担う人材育成をテーマに、国際化時代に活躍できる若い人材を育成するため、、村内小・中学校児童生徒がホームスティ等による海外体験学習を行う。 ・研修生　　村内小学生14名　　村内中学生16名、村外中学生5名		
平成30年度決算額	28,495 千円		
評価	A		
	児童生徒双方とも、外国人とのコミュニケーション能力、英語のスピーチ力とも向上が見られ、学校生活においても、海外体験を活かした授業への取り組み方などに効果が見られる。		

施策名	世界の文化に触れる国際的な交流の推進	No.30	学務課
事業名	外国語指導業務委託事業		
概要	児童・生徒に対する外国語指導の充実及び国際交流の推進を図るため、外国語指導助手を招致する。 ALT招致6名：こども園・各保育所1名、小学校4名、中学校1名		
平成30年度決算額	29,961 千円		
評価	A		
	村内こども園・各保育所及び各小中学校における外国語指導の充実及び異文化理解の促進が図られ、将来を担う人材の育成に寄与した。		

施策名	指導用教材の整備充実	No.31	学務課
事業名	タブレット端末活用支援事業		
概要	タブレット端末の導入に伴い、児童生徒及び教員が積極的かつ効果的に活用するために支援員を配置し、的確な指導や補助をすることにより授業の効率化、分かりやすい授業の構築を図る。 ・村内全小中学校3名配置（平成30年4月～平成31年3月）		
平成30年度決算額	13,284 千円		
評価	A		
	支援員を配置することにより、教員のICT活用指導力及び児童生徒の学習意欲や授業の理解度が高まり、情報活用能力の向上に寄与した。		

施策名	教育施設の整備充実	No.32	学務課
事業名	第一中学校フェンス改修工事		
概要	学校施設内への不審者の侵入を防ぐことを目的としてフェンスの改修工事を行い、防犯対策機能の強化を図る。 ・フェンス改修工事　撤去工　L=810m 設置工　L=592m		
平成30年度決算額	24,281 千円		
評価	A		
	学校の防犯対策機能の強化が図られ、教育環境の安全性の向上に寄与した。		

施策名	学校給食の充実	No.33	学校給食センター
事業名	学校給食センター管理事業		
概要	村内児童・生徒・教職員等への栄養バランスのとれた安心安全な給食の提供及び家庭における食生活改善に資するための献立表の配布並びに栄養教諭よる学校訪問の実施。		
平成30年度決算額	163,478 千円		
評価	A		
	食材に六ヶ所産の米及び野菜や特産物を使用するなど、概ね期待通りの給食の提供ができた。		

施策名	学校給食の充実	No.34	学校給食センター
事業名	バイキング給食事業		
概要	児童・生徒一人ひとりが、自分で献立の中から栄養のバランス、自分にあった量等を考え、楽しく食べながらマナーの基本を学ぶことを目的として、村内小・中学校においてバイキング給食を、年4回開催。		
平成30年度決算額	397 千円		
評価	A		
	概ね期待通りの成果が上がっており、現状のまま継続する。		

施策名	学校給食の充実	No.35	学校給食センター
事業名	学校給食センター運営委員会		
概要	学校給食センター運営を適正かつ円滑に行うため、運営委員会を年2回開催。		
平成30年度決算額	17 千円		
評価	A		
	概ね期待通りの成果が上がっており、現状のまま継続する。		

施策名	多種多様な学習機会の充実	No.36	社会教育課
事業名	家庭教育（乳幼児）学級開催事業		
概要	乳幼児をもつ親を対象に、学習機会を提供することにより親の資質向上を図る。 参加人数：29人		
平成30年度決算額	4 千円		
評価	B		
	実施したこども園は、コミニュケーションをとりながら楽しくゲームに参加していて園児、保護者ともに笑顔が絶えず満足度は非常に高かった。		

施策名	多種多様な学習機会の充実	No.37	社会教育課
事業名	小中学校家庭教育学級（地域連携学習）開催事業		
概要	児童生徒をもつ保護者及び親子を対象に、家庭での教育力の向上を図り、子育て支援の一助とするため、家庭教育に関する講演会や体験学習等を実施。各小中学校に学習会等を計画してもらい、講師謝金、交通費は社会教育課が支払う。 2小学校・2地区で実施、参加者数：98人		
平成30年度決算額	24 千円		
評価	B		
	・実施する学校が減ってきている。また内容がマンネリ化してきている傾向にある。 ・実施した学校では親子のふれあいを深める有意義な学習会となったという声や講師の話をこれからの生活に生かそうという前向きな感想等を得られ充実した事業となった。		

施策名	多種多様な学習機会の充実	No.38	社会教育課
事業名	ことぶき教室開催事業		
概要	高齢者を対象とした文化芸能発表鑑賞、シャフルボード大会、救命講習を実施。		
平成30年度決算額	30 千円		
評価	B		
	全体的に出席率がよく（当日飛び入り参加含む）、老人クラブ間や会員個々での交流を深めることができた。しかし、参加者の少ないクラブも見受けられたため、行事日程や内容の見直しも検討していきたい。		

施策名	多種多様な学習機会の充実	No.39	社会教育課
事業名	リフレッシュセミナー開催事業		
概要	現代の社会情勢をとらえ、色々な学習への意識啓発と機会を提供し、よりよい生活づくりと仲間づくりをする。		
平成30年度決算額	16 千円		
評価	A		
	無添加石鹸作りを行った。受講者の満足度は高く、次回の開催を希望する声が多かった。		

施策名	多種多様な学習機会の充実	No.40	中央公民館
事業名	中央公民館講座開設事業		
概要	趣味や教養を高めるための様々な講座等を開設することにより、村民の学習機会の充実を図る。パッチワークやエアロビクス等11講座開設。 実施回　6月～2月まで　59回　受講者数：473人		
平成30年度決算額	798 千円		
評価	A		
	受講者から満足したとの声が多く、目的を達成できた。今後も村民のニーズに対応できるような講座を実施したい。		

施策名	学習成果の活用	No.41	中央公民館
事業名	村民文化祭開催事業		
概要	公民館講座の受講者、文化協会会員、保育所・こども園児等による作品の展示や、児童生徒の音楽発表及び芸能発表等を実施。参加型のワークショップは公民館講座の内容を体験できるため大変好評であった。		
平成30年度決算額	744 千円		
評価	A		
	個性的な作品を多数展示することができ、来場者から高い評価を得ることができた。また、発表部門においても、文化協会と協力しスタンプラリーを行う等、来場者を増やすことができた。		

施策名	学習成果の活用・世代間交流の推進	No.42	中央公民館
事業名	民俗芸能発表会開催事業		
概要	祖先からの貴重な遺産である獅子舞・神楽等の発表会を通じて民俗芸能の効果的な保存、育成振興に努める。横浜町からの友情出演あり。		
平成30年度決算額	384 千円		
評価	B		
	・発表機会を提供することで保存会等の稽古が活発化している。 ・観客が少ないので、広報のみでなく村内放送など周知に努める必要がある。また特別出演団体がパターン化しているため変化を図る必要がある。		

施策名	各種団体等との連携強化	No.43	社会教育課
事業名	社会教育団体等補助金交付事業		
概要	文化協会、連合婦人会、連合PTA等の社会教育団体の活動に対し財政的支援を行うことにより、その活動の活性化を図る。		
平成30年度決算額	1,160 千円		
評価	B		
	団体が掲げる事業計画が実施され、期待どおりの成果が上がっている団体もあるが、活性化につながるような工夫が必要な団体もある。		

施策名	地域課題解決に向けた地域活動への住民参加促進	No.44	中央公民館
事業名	分館運営委託事業		
概要	地区館のない地区に分館を設置し、地区独自の行事や学習会等を実施する。		
平成30年度決算額	3,295 千円		
評価	B		
	各分館が独自の事業を展開しているが、盛んではないところもみられる。		

施策名	青少年の体験活動の充実	No.45	社会教育課
事業名	ジュニアリーダー研修会開催事業		
概要	小学生の高学年を対象とし、むつ市下北自然の家でスキー、タイヤチューブ滑りスノーシュハイキングなど雪に触れることを主とした冬季活動等について研修会を実施した。 参加人数：12人		
平成30年度決算額	40 千円		
評価	A		
	自分の立場と役割を理解し、自らが積極的に行動する場面が多く見受けられ、個々にリーダーとしての意識付けが感じられた。		

施策名	青少年の体験活動の充実	No.46	社会教育課
事業名	少年少女発明クラブ活動事業		
概要	児童生徒が創作活動を通じて考えたり工夫する力をつけ、夢や希望にあふれた心豊かな人間形成を図る。専門指導員による創作活動や化学実験の実施、ロボットコンテストへの参加。 小学3年生から中学3年生まで17人所属		
平成30年度決算額	333 千円		
評価	B		
	クラブ員が昨年より増員となり活動が活発化した。しかし工作活動に関しては、例年同じような作品を作成してしまうので、子どもたちが自由に意見交換や内合わせができる時間を増やすことでイマジネーションを高めて新しい作品の作成を行う。		

施策名	青少年の体験活動の充実	No.47	中央公民館
事業名	成人式運営事業		
概要	新成人を祝うため実施。対象は、平成11年4月2日から平成12年4月1日生まれの村内中学校を卒業した者、及び村内在住者。 対象者：157人　　出席者：79人		
平成30年度決算額	515 千円		
評価	A		
	例年どおり、厳か且つ円滑に式が執り行われた。アトラクションでは人生経験豊かな講師をまねき、新成人を巻き込んだ参加型のステージで、和やかな雰囲気の中でマナーを学び有意義なものとなった。		

施策名	スポーツをする機会の充実	No.48	社会教育課
事業名	スポーツ教室開催事業		
概要	村民の健康の増進と競技スポーツ及び生涯スポーツの振興を図るため、バスケットボール教室を開催。		
平成30年度決算額	92 千円		
評価	B		
	バスケットボール教室は、昨年度から引き続き、プロバスケットチームのスクールコーチと選手を招いて開催した。今年度は、参加対象を中学生に絞って開催し、より細かい指導ができていた。親子スケート教室は、参加者が集まらず残念ながら中止となった。		

施策名	スポーツをする機会の充実	No.49	社会教育課
事業名	スポーツ大会開催事業		
概要	競技スポーツや家族で気軽に参加する軽スポーツの推進、生涯スポーツの普及振興を図るため、軽スポーツ・レクリエーション大会、スポーツ少年団野球大会、バスケットボール大会、バレーボール大会、シャフルボード大会などを開催。		
平成30年度決算額	871 千円		
評価	B		
	村民体育大会にかわる事業として、軽スポーツ・レクリエーション大会を開催。悪天候によりグラウンド・ゴルフは中止となったが、ふらばーるバレーボールは初めての試みだったが盛り上がった。		

施策名	各種団体・個人支援	No.50	社会教育課
事業名	県民駅伝競走大会参加事業		
概要	市町村対抗で8区間を一般（高校生以上）4人、中学生男子2人、女子（中学生以上）2人の構成で競う駅伝大会に参加。 2回の選考会、7月～9月の中学生強化練習、11月～3月の小、中学生強化練習、3回の強化合宿を行い競技力の向上を図る。		
平成30年度決算額	2,307 千円		
評価	A		
	年間を通して選手の強化を図り、村の部6連覇を達成した。		

施策名	各種団体・個人支援	No.51	社会教育課
事業名	全国大会等参加競技団体支援事業		
概要	東北大会、全国大会に参加する各種団体・個人に大会参加に係る費用の一部を補助し、費用負担の軽減を図る。		
平成30年度決算額	24,048 千円		
評価	A		
	東北大会、全国大会に参加する個人・団体に対し費用の一部を助成することにより参加者の費用負担の軽減を図られ、期待通りの成果が上がった。		

施策名	各種団体・個人支援	No.52	社会教育課
事業名	社会体育団体補助金交付事業		
概要	地域のスポーツ振興の中核をなす体育協会の活動及びスポーツ少年団の活動に対する補助金交付。		
平成30年度決算額	18,847 千円		
評価	A		
	体育協会及びスポーツ少年団の活動に対して補助することにより、体育協会関係としては青森県民体育大会で総合3位に入賞、スポーツ少年団関係としては六ヶ所FCが県大会に出場する等の成果が上がっている。		

施策名	住民のニーズに合わせた施設の運営	No.53	社会教育課
事業名	大石総合運動公園及び総合体育館管理運営事業		
概要	施設の定期点検や適時の維持・修繕等に努め、施設の適正な管理運営により、地域住民に対する利用サービス提供の効果及び効率を向上させる目的で指定管理に管理委託。		
平成30年度決算額	41,541 千円		
評価	A		
	本村における体育振興の拠点となる施設であり、子どもから高齢者に至るまで、幅広く利用されており、村民の健康増進とスポーツの普及振興に効果を上げている。		

施策名	住民のニーズに合わせた施設の運営	No.54	社会教育課
事業名	千歳平地区体育館及び屋内グラウンド管理運営事業		
概要	施設の定期点検や適時の維持・修繕等に努め、施設の適正な管理運営により、地域住民に対する利用サービス提供の効果及び効率を向上させる目的で指定管理に管理委託。		
平成30年度決算額	6,433 千円		
評価	A		
	千歳地区における体育振興の拠点となる施設であり、子どもから高齢者に至るまで、幅広く利用されており、村民の健康増進とスポーツの普及振興に効果を上げている。		

施策名	住民のニーズに合わせた施設の運営	No.55	社会教育課
事業名	屋内温水プール管理運営事業		
概要	施設の定期点検や適時の維持・修繕等に努め、施設の適正な管理運営により、地域住民に対する利用サービス提供の効果及び効率を向上させる目的で指定管理に管理委託。		
平成30年度決算額	126,038 千円		
評価	A		
	本村における体育振興の拠点となる施設であり、子どもから高齢者に至るまで、幅広く利用されており、村民の健康増進とスポーツの普及振興に効果を上げている。また、魅力的なイベントを企画、開催し、利用率増加に貢献している。		

施策名	文化活動の拡充	No.56	社会教育課
事業名	生涯学習イベント「キラキラライフフェスティバル」開催事業		
概要	生涯学習の場の提供や情報を提供することにより、学習活動への参加を促し、一人一人の生涯学習意欲を高め、主体的に学ぶことの楽しさを実感できるよう、県内外で活躍する方を招き講演やワークショップなどを開催し、意識高揚、生きがい作りのきっかけとして開催する。		
平成30年度決算額	1,015 千円		
評価	A		
	村外からの来場者が多数見られ、親子で体験できるワークショップ等、大好評だった。次年度もぜひ参加したいとの声が多数あり大盛況だった。		

施策名	住民のニーズに合わせた施設の運営	No.57	社会教育課
事業名	郷土館管理運営事業		
概要	施設の定期点検や適時の維持・修繕等に努め、施設の適正な管理運営により、地域住民に対する利用サービス提供の効果及び効率を向上させる目的で指定管理に管理委託。		
平成30年度決算額	27,688 千円		
評価	A		
	郷土館は「地域文化の創造と継承」や「生涯学習の推進」を基本方針とし、住民のニーズに合わせた運営を目指し、様々なイベント等を企画開催して利用率増加に貢献している。 来館者数　3，629人		

施策名	住民のニーズに合わせた施設の運営	No58	社会教育課
事業名	図書館管理運営事業		
概要	施設の定期点検や適時の維持・修繕等に努め、施設の適正な管理運営により、地域住民に対する利用サービス提供の効果及び効率を向上させる目的で指定管理に管理委託。		
平成30年度決算額	37,509 千円		
評価	A		
	本村における主要な施設のひとつである図書館は「利用者に親しまれ、魅力ある図書館」の運営を目指し、様々なイベント等を企画開催して多様化する利用者のニーズ応じ、図書館利用率増加に貢献している。　　来館者数　33，302人		

施策名	多様な学習機会の充実	No.59	泊地区ふれあいセンター
事業名	成人講座開講事業		
概要	地域住民へ充実した生涯学習の機会を提供し、教養をより深められるようサポートする。 健康体操教室や料理教室、布ぞうり作り等16講座を開設し、69回開催、参加者数のべ487名。		
平成30年度決算額	465 千円		
評価	A		
	好評講座においては定員をほぼ満たすことができ、地区館祭や村民文化祭へ多数出展、利用者が減少する11月以降に新しく3講座を開催したところ利用増加に繋がった。		

施策名	多様な学習機会の充実		No.60	泊地区ふれあいセンター
事業名	高齢者教室開催事業			
概要	地区の高齢者の方が学習活動へ参加する楽しみや健康で充実した日常生活を過ごしていただくため、平成30年度はふれあいセンター祭の体験コーナーにおいて大人のぬり絵を実施、参加者は8名。			
平成30年度決算額	11 千円			
評価	A			
	ぬり絵コーナーの認知度不足もあったが、参加者は短時間で作品を完成させた。			

施策名	多様な学習機会の充実	No.61	泊地区ふれあいセンター
事業名	サークル活動支援事業		
概要	地域でサークル活動している団体がスムーズに活動できるよう支援する。 施設利用団体は5団体、実施日数78回、参加者数のべ668名。		
平成30年度決算額	14 千円		
評価	A		
	登録5団体においては、継続した活動を実施しており、今後も活動支援を行う。		

施策名	学習成果の活用	No.62	泊地区ふれあいセンター
事業名	泊地区ふれあいセンター祭開催事業		
概要	講座やサークル活動での学習成果の発表と作品展示の機会を提供し、当館の利用促進と芸術・文化活動の振興を図るため開催、芸能発表5団体、作品出展数436点。		
平成30年度決算額	282 千円		
評価	A		
	学習成果の発表と作品展示を通じ、地域住民の交流と親睦に貢献できた。		

施策名	青少年の体験活動の充実	No.63	泊地区ふれあいセンター
事業名	青少年教室開催事業		
概要	地域の世代間交流を図ることを目的とし、餅つき会・まゆ玉作りを開催、今年度は対象者を小学生と保育所児童とし43名が参加、大人（老人クラブ・婦人会）24名の協力により実施した。		
平成30年度決算額	5 千円		
評価	A		
	初めて餅つきを体験する子供達が大多数で、今後も楽しみながら地域文化伝承を体験できるものを企画し、反映させたい。		

施策名	青少年の体験活動の充実	No.64	泊地区ふれあいセンター
事業名	青少年映画鑑賞会開催事業		
概要	地区児童を対象とした映画鑑賞会として10月19日（金）に児童社会教育映画「大ちゃん、だいすき」を小学校講堂にて上映、泊小学校放課後教室児童を中心に45名が観覧した。		
平成30年度決算額	130 千円		
評価	A		
	映画館に足を運ぶ機会が少ない児童に大画面と音響効果を身近に感じてもらえた。		

施策名	住民のニーズに合わせた施設の運営	No.65	泊地区ふれあいセンター
事業名	貸し館		
概要	地域の主要拠点として利用促進を図り、講座やサークル活動の他、いきいきサロン、葬儀等の利用に対応、年間利用者数延べ10,445人。		
平成30年度決算額	753 千円		
評価	A		
	放課後教室実施場所の移動等により利用者数は減少したが、利便性の向上を考慮しながら少しでも利用促進に努めたい。		

施策名	住民のニーズに合わせた施設の運営	No.66	泊地区ふれあいセンター
事業名	泊地区ふれあいセンター浴場施設管理運営事業		
概要	浴場施設の適切な維持管理及び運営により、地域住民を含む利用者に対するサービス提供の効果と効率の向上を目的に指定管理業務を委託する。		
平成30年度決算額	9,540 千円		
評価	A		
	泊地区を中心とした幅広い年齢層に利用されており、地域の健康とやすらぎが得られる施設として機能するよう継続する。		

施策名	多種多様な学習機会の充実	No.67	千歳平地区公民館
事業名	公民館講座開講事業		
概要	管内在住者及び在勤の人を対象に生涯学習の機会を提供し、学習を通じて受講生の交流や生涯学習意欲の高揚を図る目的で4講座を開設。延べ304人の参加者があった。		
平成30年度決算額	339 千円		
評価	B		
	昨年に比べ参加者が減少しており、新しい講座を開設するなど地域住民の要望に応える活動を行っていく。		

施策名	多種多様な学習機会の充実	No.68	千歳平地区公民館
事業名	ミニ講演会等開催事業		
概要	国際交流員のイムジョンさんを講師に迎え、韓国のコースター作りを行った。		
平成30年度決算額	0 千円		
評価	A		
	普段、接することのない外国人と親しく物作りを行い、また外国の話を聞くことで国際理解を深めることができた。今年度も国際交流課と連携し地域住民の要望に応えていく、また郷土料理等地域の文化を伝える人たちによる講習会なども考えていく。		

施策名	学習成果の活用	No.69	千歳平地区公民館
事業名	千歳平地区公民館祭開催事業		
概要	生涯学習の成果を発表する場つくり、芸術・文化活動の振興と意識の高揚を図る目的で開催。作品展は268人が506点を出展。継続。		
平成30年度決算額	193 千円		
評価	A		
	例年2月開催だったが、 気象条件等が悪いことから地域住民の要望から11月開催とした。参加者も増加し、六ヶ所高校ボランティア部によるバルーンアート教室など新しい催し物も増やした。		

施策名	学習成果の活用	No.70	千歳平地区公民館
事業名	環境美化運動事業		
概要	花植え・花壇の管理作業をとおして、花のある風景づくりから環境美化の意識の高揚を図る目的で実施し、花の苗3,129鉢を配付。		
平成30年度決算額	251 千円		
評価	A		
	自治会の年中行事に組み込まれ、概ね期待どおりに進められた。地区館ではプランターを大型のものに代え、数は減らすことによりまとまりが出て見栄えが良くなった。 今後も継続する。		

施策名	青少年の体験活動の充実	No.71	千歳平地区公民館
事業名	管内小・中学校映画鑑賞開催事業		
概要	映画鑑賞会をとおして、限りない未来をもつ青少年の豊かな情繰育成を図る目的で管内、千歳平小学校(注文の多い料理店)・千歳中学校(くちびるに歌を)を対象に開催。		
平成30年度決算額	281 千円		
評価	B		
	小学校で上映中に機材トラブルのため最後まで見ることができなかったため、今年度は業者に事前に入念なチェックを行わせる。本年度は5月の10連休により授業時間が減っていることから小学校での鑑賞会は見合わせとなり、中学校のみの実施となる。		

施策名	スポーツをする機会の充実	No.72	千歳平地区公民館
事業名	健康づくり事業		
概要	体力の増進と明るく健全な生活向上を図ることを目的とし「ヨガ教室」を開催。開催回数6回、延べ42人が参加した。		
平成30年度決算額	51 千円		
評価	A		
	日頃の運動不足やストレス解消に楽しい教室になっています。参加者より回数を増やしてほしいとの要望から今年度は16回に増やして対応している。		

施策名	文化活動の拡充	No.73	千歳平地区公民館
事業名	広報活動事業		
概要	公民館活動の情報提供を目的とする広報誌「公民館だより　オアシス」を、館内5地区及び笹原分館地区3地区に毎月495部を配布。		
平成30年度決算額	0 千円		
評価	A		
	毎月の公民館講座情報等の広報やトピックなどを伝えるという一定の持続した成果はあるものの情報がマンネリ化する傾向にあるので、さらに企画を考えていく必要がある。		